

令和 2 年度

児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

2 , 自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
①暴力行為の状況等	児童が粗暴な言動をする事案は、前年度に比べて減少し、落ち着いた状況が見られる。
②いじめの状況等	学校全体でいじめの未然防止と早期発見、早期対応に取り組んでいる。いじめを認知した時は、情報共有のうえ、解消に向けて取り組んでいる。困った時は、すぐに相談できるよう、温かい雰囲気の学級、学校づくりを大切にしていく。
③小・中学校における不登校の状況等	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う長期の臨時休業の影響により、規則正しい学校生活になじみにくい状況が見られる。特に、連絡のつかないままの遅刻や欠席の増加、固定化が課題である。学級担任をはじめ、多くの教職員で本人と保護者へ働きかけるとともに、区役所のこどもサポートネットなど関係諸機関と連携して、登校支援をねばり強く進めている。